

KEYUCA

食洗機対応

kuplia ステンレス炭酸ボトル550

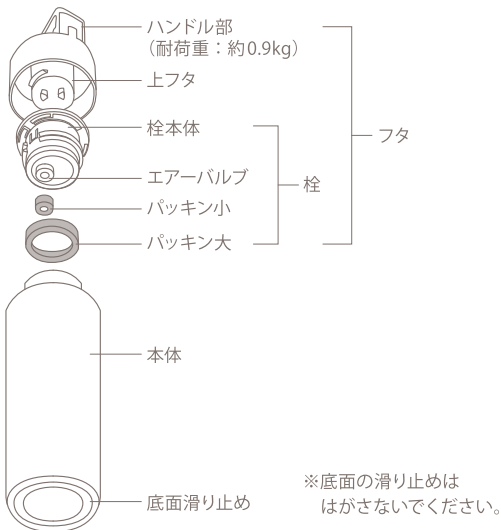
取扱説明書

保温
保冷

真空2重構造による
保温保冷効果

【各部の名称】

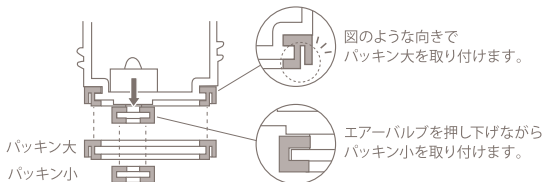
ご使用前に各部品が揃っていることを確認してください。



ご使用前に

パッキンが正しい位置に嵌まっていることをご確認ください。

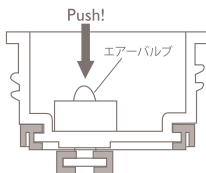
【パッキンの取り付け方】



- パッキンを外す際は、無理な力をかけないようにご注意ください。
- パッキンは浮きのないようにしっかり取り付けてください。
- パッキンが劣化または損傷している場合は、新しいパッキンに交換してください。

ご使用の際は、エアーバルブが作動することを必ず確認してください。

炭酸飲料を入れてお使いの際、エアーバルブが正常に作動しないと、フタが開かなくなったり、内容物が漏れたり吹き出る、または破損して飛散するなどして危険です。ご使用前に上フタを外して、栓の内側にあるエアーバルブを押して上下に動くことをご確認ください。



取扱い上の注意

- ご使用になる時は、やけどや飲料物の変質・変色、製品の故障・汚れを防ぐために、下記のことは必ずお守りください。

ご注意ください ご使用前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

表示マークの意味について

- 製品を正しくお使いいただくために、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を以下の表示で区分しています。

 警告	死亡、または重傷を負うおそれがある内容を示しています。	 注意	軽傷、または物的損害を負うおそれがある内容を示しています。
--	-----------------------------	---	-------------------------------

図記号について

 禁止	してはいけない内容(禁止)を表しています。	 必ずおこなう	必ずお守りいただく内容を表しています。
--	-----------------------	---	---------------------

警告

-  乳幼児の手の届く所には置かないでください。
また、いたずらには十分注意してください。
やけどやケガの原因になります。
-  自動車や自転車の走行中には使用しないでください。
飲料物がこぼれ、やけどやものを汚す原因になります。
また、運転時の注意が散漫になり、事故の原因になります。
-  熱い飲料物を入れた直後、本体を振らないでください。
内圧が急に上がり、フタが開けにくくなったり、開ける時に音がする場合があります。
-  熱い飲料物を入れ、長時間保温放置しないでください。
内圧が下がり、フタが開けにくくなったり、開ける時に音がする場合があります。
-  傾けた状態・顔を近づけた状態でフタを開けないでください。
沸騰した熱湯を入れた場合、本体の内圧が上がり、吹き出すおそれがあります。
-  上フタや栓は、パッキンが正しく取り付けられていることを確認し、
確実に閉めてください。
漏れの原因になります。

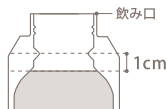


注意

- ❌ 真空二重構造の内部から水が音をする場合は使用しないでください。
真空層の水が本体内部にしみ出した場合、飲むと体調不良の原因になります。
- ❌ 改造・分解・修理はしないでください。
故障・事故の原因になります。
- ❌ 熱い飲料物を入れた場合、飲み口からの湯気や蒸気でやけどをするおそれがありますので注意してください。
- ❌ 飲料物を入れた状態で長く放置しないでください。
特にお茶を入れた際は、色や風味が変わりやすいです。
- ❌ 揺する・落とす・ぶつけるなどの強い衝撃を与えないでください。
変形による漏れや保温・保冷不良の原因になります。
- ❌ 電子レンジで加熱しないでください。
火花が飛び、ケガやレンジ故障の原因になります。
- ❌ 冷凍庫に入れないでください。
漏れや破損の原因になります。
- ❌ 次のものは絶対に入れないでください。
 - ・ドライアイス、…フタが開かなくなり、破損し飛び散るおそれがあります。
 - ・牛乳、乳製品、果汁などの腐りやすいもの…入れたまま放置すると腐敗し、ガスが発生することでフタが開かなくなり、破損し飛び散る場合があります。
 - ・お茶の葉、果肉を含んだもの…隙間に詰まり、中身が漏れる場合があります。
- ❌ ハンドルは無理にねじったり、持って振り回したりしないでください。
また、ぶら下げて使用する際は、ふたがゆるまないように十分ご注意ください。
- ❌ かばんなどに入れて持ち運ぶ際は、必ず本体を立てて入れてください。
横置きは漏れの原因になります。
- ❌ 飲料物の保温・保冷以外の用途には使用しないでください。
- ❌ コンロやストーブなど、火気のそばには近づけないでください。
やけどや変形・変色の原因になります。
- ❌ 直射日光の当たる場所や、自動車の中などに放置しないでください。
変形・変色・保冷効果が落ちる原因になります。

❌ 飲料物の量は、適正容量以下にしてください。

飲み物は入れすぎないように図の位置（適正容量）までにしてください。入れすぎると栓の内側に飲み物が侵入し、漏れの原因になりますのでご注意ください。



❌ 携帯電話、パソコン、デジタルカメラ等の精密機器と一緒に持ち運ぶのはやめてください。

飲料物が漏れた場合、精密機器破損の原因になるおそれがあります。

❌ ケトルなどから直接飲料物を入れる場合、ケトルの口を本体のフチ（飲み口）にあてないでください。

本体が転倒して、やけどやケガの原因になります。

❗ 炭酸飲料を入れた場合は、次の点にご注意ください。

- ・フタを開ける際、“プシュッ”と音がしたり、泡などが吹き出すことがあります。十分ご注意ください。
- ・吹き出たり炭酸が早く抜ける原因になりますので、振ったり揺すったりせず本体を立て、できるだけ本体を固定した状態にして持ち運んでください。
- ・フタと本体を手で抑えながらゆっくりとフタをまわし、本体内部のガスを逃がしながら、フタを開けてください。
- ・本体を振ったり、落下して衝撃を受けたりした時は、すぐにフタを開けないで少し時間を置いてから、布などをあて、ゆっくりと開けてください。

❗ 自動車のドリンクホルダーを使用する際は、あらかじめ強度や安全性を確認してください。

強度や固定が不十分ですと、ホルダーが外れたり破損してやけどやものを汚す原因になります。

❗ 湿気や湯気によりフタの内側に水滴がつくことがあります。

その場合は、乾いた布などで拭き取ってください。

漏れの原因になります。

❗ 大きな氷を入れる場合は押し込まず、小さくしてから入れてください。

口部が変形し、漏れや保温・保冷不良の原因になります。

❗ 使用中や洗浄の際は、製品の先端及びエッジ部分でケガをするおそれがありますので、十分ご注意ください。

❗ 氷など冷たいものを入れたときは次の点にご注意ください。

- ・本体内外の温度差により、フタが開きにくい場合があります。
- ・気温や湿度が高い時などに、フタに結露が生じることがあります。

お手入れ

- ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、大切に保管してください。

初めてのご使用の際に

以下の手順でお手入れしてください。

- ①食器用洗剤を使用し、柔らかいスポンジまたはブラシでよく洗ってください。
- ②本体に少量の熱湯を入れ、確実に上フタ・栓を閉める。
- ③本体を軽く数回傾ける。
- ④フタを開けてお湯を捨てる。

【栓が固く、とり外しにくい場合】

60℃程度のお湯に2～3分つけますと外しやすくなります。

お手入れ上の注意 お手入れの前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

●本体のみ食器洗浄機・食器乾燥機の使用が可能です。

ご使用の際は、食器洗浄機・食器乾燥機の取扱説明書をご確認ください。

※クレンザー入りの洗剤は塗装はがれの原因となるおそれがあります。

●煮沸消毒はしないでください。

●シンナー類・クレンザー・金属たわし・アルコール・化学ぞうきんなどは使用しないでください。

キズや塗装のはがれ、腐食の原因になります。

※外面がつや消し塗装仕上げの製品または柄が印刷されている製品は、ご使用に伴い擦れ跡が目立ったり、ふきんなどで強く擦ると色落ちする場合がありますが、使用上問題はありません。

この商品は行き届いた品質管理のもとで生産されておりますが、万一不良品やお気づきの点がございましたらご連絡ください。

KEYUCA www.keyuca.com

河淳株式会社

東京都中央区日本橋浜町3-15-1



電子レンジ
不可



食洗機
不可



冷凍不可



普段のお手入れ

- 清潔に使用していただくために、ご使用後はその日のうちにお手入れをしてください。
- お手入れは、食器用中性洗剤を使用し、柔らかいスポンジまたはブラシでよく洗ってください。
- すすいだ後は、水気を拭き取り十分に乾燥させてください。
- 長期間使用しない時は、汚れを十分落とし、よく乾燥させてください。高温多湿の場所をさけて保管してください。

※コーヒーやお茶などの色の濃い飲料物を入れると、上フタ・栓・パッキンは変色しますが、品質上問題はありません。

洗い方 部品名		流水洗い	つけ洗い	酸素系 漂白剤	塩素系 漂白剤	食器洗い 乾燥機
上フタ・ハンドル部		○	×	×	×	×
栓本体・エアーバルブ		○	×	×	×	×
パッキン		○	○	○	○	×
本体	内側	○	○	○	×	○
	外側	○	×	×	×	○

※漂白剤をご使用の際は、漂白剤の取扱説明書に従って正しくご使用ください。

※本体は水中に放置しないでください。本体と底の隙間に水が浸入し、サビや保温・保冷不良などの原因になります。

※鉄やアルミなどと製品が長時間触れますと、サビますのでさけてください。

本体内側のお手入れ

【斑点状の赤いサビが付着している場合】

水に含まれる鉄分などが付着したものです。本体内側にお湯を入れ、食酢を10%程度加えて上フタ・栓を必ずはずして約1時間放置後、よく洗ってください。

【ザラザラしたものが付着している場合】

水に含まれるカルシウムなどが付着したものです。本体内側にお湯を入れ、クエン酸を10%程度加えて上フタ・栓を必ずはずして約3時間放置後、よく洗ってください。

【汚れや臭いが気になる場合】

酸素系漂白剤を本体内側に入れ、上フタ・栓を必ずはずして約30分放置後、よく洗ってください。

【栓の外し方】

①フタを本体に嵌め、
しっかり閉める。



②フタを少し開け、
カチッと緩む感覚が
あるところで止める。



③本体をしっかりと固定し、
フタを上方にまっすぐ強く
引き上げると上フタだけが
外れる。次に、本体に残っ
た栓を矢印の方向に回し
て外す。



【栓の取り付け方】

栓のスリットを上フタの内側にあるツメに合わせてまっすぐ押し込む。



カチッ



上フタの内側



取り外しや取り付けの際は十分にご注意ください。
無理な力を加えると上フタのツメやせん本体が
破損するおそれがあります。